

第2期高知県産業振興計画の策定方針等（案）

1 第2期計画の特徴等

- 計画の期間は、平成24年度から平成27年度までの4年間とする。
- 県民の皆様と成功イメージを共有するため、「目指すべき将来像（10年後）」と計画全体を貫く「目標」、テーマごとの「4年後の姿」、「10年後の姿」を明確に掲げる。

2 第2期計画の策定方針

第2期計画では、県経済全体の底上げに向けて、腰を据えて継続的な取り組みを行うとともに、より高いレベルを目指して挑戦していくために、次の方針により策定する。

- 第1期計画の取り組みによって、見えてきた乗り越えるべき課題や残された課題に対応する。
- 各施策、各事業において、可能な限り、アウトカム目標を設定する。
- 次の3つの視点をもって、計画をさらに進化させ、推進する。

①「これまでの取り組みを定着させ、更なる成長・発展を図る」

産業振興計画の取り組みの経済効果を県全体により波及させていくことができるように、動き出した数々の事業を定着、成長、発展させていく。

②「より大きな動き、大きな産業を目指す」

本県産業が長期にわたって成長、発展し続ける礎を築いていくことができるよう、県内企業の投資誘発、企業誘致とともに、防災や新エネルギーなど、将来に大きな可能性を秘めている分野に思い切って挑戦し、より大きな動き、大きな産業を目指していく。

③「地域地域で産業振興に取り組む実践者を広げる」

地域アクションプランのさらなる推進や、中山間対策の抜本強化などによって、より多くの県民の皆様が産業振興計画に参画いただき、その経済波及効果を県内の各地域地域にもたらしていく。

3 その他、第1期からの変更点（計画の構成等）

<総論>

- ①第1期計画の総括（主な成果、乗り越えるべき課題等）を総論部分に記載する。
→必要な施策は、線表に反映
- ②「改革のための基本方向」を新たなSWOT分析に基づき、現在の3つの基本方向から次の5つに整理する。

《第1期計画》

- 1 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る
- 2 産業間連携の強化
- 3 足腰を固め、新分野へ進出

※「産業人材の育成」を新たに基本方向として定め推進する

《第2期計画》

- 1 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る
- 2 産業間の連携を強化する
- 3 足腰を強め、地力を高める
- 4 新たな産業づくりに挑戦する
- 5 産業人材を育てる

<産業成長戦略>

③各分野ごとの戦略の「全体概要図」に、新たに「概要説明」を追加する。

④連携テーマを、現在の7テーマから次の5テーマに整理する。

《第1期計画》	《第2期計画》
1 地産地消・地産外商戦略	1 地産地消・地産外商戦略の展開
2 ニューツーリズムの推進と観光への地域産物の活用	⇒専門分野で対応
3 新エネルギーを産業に生かす	2 新エネルギーを産業振興に生かす
4 産学官連携の強化	3 産学官連携による力強い産業の礎を築く
5 中山間地域の産業づくり	4 中山間の暮らしを支える産業づくり
6 建設業の新分野進出	⇒専門分野で対応
7 人材育成・人材確保	5 産業人材の育成・確保

<地域アクションプラン>

⑤第1期計画の地域アクションプランの総括（主な成果、乗り越えるべき課題等）を記載する。

⑥線表の仕分を廃止する。